



暑い夏でも変わりゆく動物園

暑い夏、あたり前ですが特に平成24年は暑いような気がします。動物園入り口のデジタル温度計は、36度とか37度とかを表示する日があり一瞬、体温計？、と勘違いするほど。暑さにかまけ、つい更新もおっくうに。しかし、きのう今日は少し涼しげな風も吹くようになったので（という言い訳をしながら）一念発起して更新します。

動物園の定説のひとつに「暑い夏は客足が遠のく」というのがあります（うちだけだったりして）、まさに平成24年はコレ。猛暑の続いた7月下旬から8月上旬は平成23年の半分程度の入りでした。特に平成23年は、震災後の影響から海が敬遠されたこともあり、結構動物園は賑わったのですが、それにしても平成24年は暑すぎます。しかし、そんな暑い中でも動物園は少しずつ変わっています。本当は「動物園日記」のコーナーで誰かが書くか、と構えていたのですが、飼育員も連日の炎天下の作業でバテ気味のようなので、という援護射撃をしつつ、こちらのコーナーでちょこっと紹介していきたいと思います。



暑くって洗ってなんかいられないアライグマ

まずは「復活おめでとう！」編第1弾。あのケケケケケのワライカワセミが帰ってきました。サルの楽園などの工事で隔離舎という何とも不本意な場所で隠居生活を余儀なくされていたカワセミさん達ですが、飼育員の懸命の手作業により見事復活しました。場所もカンガルー舎前の一角にケージをこしらえ、予期せぬ「なんちゃってオーストラリア」ゾーンが出現することに。さすがワライカワセミさん、ケージに入れてしばらくすると、それまでの暗く狭い部屋から一転、環境が変わったことにうれしさがこみ上げたのか、やってくれました！「ケケケケケ」。まあ、こうしか鳴けないのですが。



カンガルー舎の前にワライカワセミが



ケケケケケ

そして「復活おめでとう！」編第2弾。アメリカアカリスの展示です。これまた、震災により再建したカピ！バラエティハウスの陰に隠れ、しばらく皆さんの前から姿を隠していたリスさんですが、やっとお目見えできました。うん？どこどこ？そう、ちょっと分からないかもしれませんが、場所は、カワウソ舎手前の子供動物園入り口アーチ看板の下です。今は看板を外しましたが、そのアーチの下に、これまた飼育員がこっそり、いや堂々と、手づくりのネットチューブを取り付け、その両サイドにケージをつなぎました。するとケージとケージの間をすばしっこく行ったり来たり、または途中でダレるとあられもない姿で上で寝ていたり…しています。アーチをくぐるとき気がつかないお客さんも結構いますが、今度来るときチェックしてみてください。



このアーチの下を



よく見ると



いたいた



ケージ内では食事中

そして最後は「おう、ここにいたのかアナグマ」編。カピ！バラエティハウスにお引越しいたアフリカタテガミヤマアラシですが、しばらく空き家となったところへ入ってきたのがニホンアナグマ。クマといっても実はイタチの仲間です。夜行性で、冬になると活動が鈍り穴の中で過ごすようになるようですが、今の時期、昼間でも結構うろうろ動き回っています。ヤマアラシがいなくなり気が付いたらひっそりとアナグマがいた、って感じですが、結構愛敬のある顔をしています。宅地開発などで数は減ってきているようですが、このアナグマも野生で傷つき保護された個体です。このほかにも、ビーバー舎隣の池にはバリケンという、もともと南米原産のカモの仲間が4羽、いつも仲良くたたずんでいます。



ニホンアナグマ登場・マーラ舎のとなりだよ

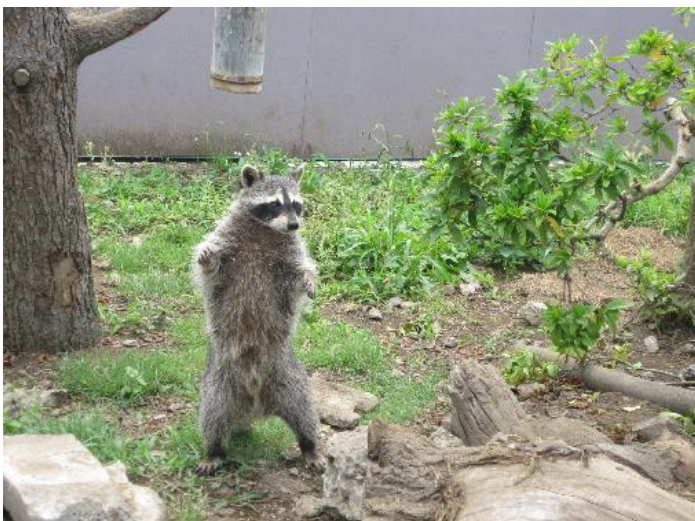


変な鳥っていわないで・バリケン

こんな感じで、大々的なリニューアルとは違って、人知れずちょこちょこ味のある変化も遂げる動物園ですので、皆さんの目で確かめに来てみて下さい。まあとりあえず、今週末から14日にかけての夜の動物園をお楽しみください。



涼風が心地よい夜の動物園



おまけ・アライグマも立って待ってるよん

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)

[平成29年](#)

[平成28年](#)

[平成27年](#)

[平成26年](#)

[平成25年](#)

平成24年

[平成24年12月](#)